

## 人口減少傾向の改善に向けた論点

### 1 平成 29 年度まち・ひと・しごと創生本部会議での議論の概要

#### (1) 実施概要

##### ア 開催日

平成 29 年 11 月 6 日 (月)

##### イ 検討事項

「江田島市の人口減少傾向の改善」 ※ワークショップ形式で議論

#### (2) 本部の意見

##### ア 優先すべき分野

○人口増減に影響を与える「出生数の増加」「平均寿命の延伸」「転入促進・転出抑制」の 3 分野のうち、「転入促進・転出抑制」に優先的に取り組むべきとされた。

※転入促進・転出抑制を図ることができれば、出生数の増加等も図られていくであろうというもの。

##### イ ターゲット層

○転入促進・転出抑制のターゲット層は、生産年齢人口（就業世代）とされた。

○また、市内への就業だけでなく、他市町で就業し通勤する方も、ターゲット層のイメージとして提示された。なお、就業世代と、その親世代をセットでターゲットとしてもよいのではないかという意見もあった。

※共働きの子育て世代にとって、子供の面倒を見てくれる親が近くにいれば働きやすいというもの。

##### ウ 効果があると思われる具体的な事業（案）

○若年層への住宅用地の提供

○住宅購入補助の拡充（親世代とともに暮らす場合の割増など）

○ソーシャルキャピタル（協調社会）の推進や移動手段の確保による暮らしやすさの創出（地域貢献ポイント制度、自動運転システムの推進参画など）

○ターゲットに合わせた P R 活動の実施（通勤、兼業農家嗜好のある方など）

#### (3) 意見の取扱

○上記については、本有識者会議での御意見を頂きながら、事業化に向けた検討を行っていく。

### 2 平成 29 年度まち・ひと・しごと創生有識者会議における論点

①有識者会議として、優先すべき分野・ターゲット層をどう考えるか

②有識者会議として、優先すべき分野・ターゲット層に対し、どのような具体的な取組を行えばよいと考えるか